



《日の神の誕生》



《桃の手柄》



《鍵穴の神》



《南洋》

古事記繪はなし

日本乃神様

挿絵
原画展

『日本乃神様』は、1911（明治44）年に子ども向けの家庭読本として初版が発行され、評判が良かったため、4版まで重版されています。この挿絵は当館に所蔵されており、当館の重要なコレクションの一つとなっています。

文は東京朝日新聞社で社会部の部長を勤めた渋川玄耳が担当し、挿絵・装幀を春仙が担当しています。渋川は春仙が朝日新聞社に入社の折、挿絵画家としての心得を指導するなど、春仙に多大な影響を与えた人物で、公私ともに親交が深く、渋川の多くの著作の挿絵・装幀を手掛けています。

春仙は同年発表した《南洋探検》をはじめ、《神功皇后鮎鈞図》《潮盈つ珠潮干る珠》のほか、30年来の宿望とされた《大日本神典画卷》の制作に取り組むなど、生涯のテーマとして日本の神様

を描き続けました。『日本乃神様』はその最初期の作例として大変貴重なもので、ロマンチックな雰囲気や醸した、洋風の感じがする独特の作風で、役者絵を描いた春仙と同一人物であるとは思えない不思議な魅力を持っています。

『日本乃神様』は、読み物として読み応えのある作品であることはもちろんのこと、春仙芸術の新たな魅力を発見できる美術作品として楽しんでいただける内容となっています。

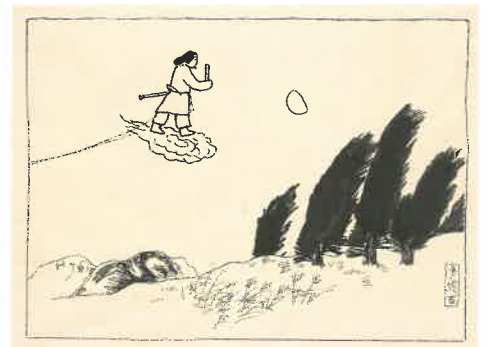
名取春仙が描く魅力溢れる神様たちの物語をご堪能ください。



《豊玉姫》



《七少女》



《大田田根子》



《衣通姫》



《海鼠の口》



交通のご案内

- 電車・バス JR中央線 甲府駅下車（バス利用35分）
山梨交通バスターミナル
西野経由小笠原下仲町行き「市立美術館」下車
十五所経由鵜沢営業所行き「戸田町」下車 徒歩10分
- 自動車 県道42号線沿い
中央自動車道 甲府昭和ICより20分 県道42号線沿い
中部横断自動車道 白根IC・南アルプスICより5分 県道42号線沿い

美術館公式HPはこちらから
<https://www.minamialps-museum.jp/>

美術館公式facebookはこちらから
<https://www.facebook.com/235851723615051>

*各種イベントに関しましては、新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更になる場合があります。
*新型コロナウイルスの感染拡大状況により、臨時休館場合があります。予めご了承ください。
ご来館前に当館ホームページ等をご確認ください。



南アルプス市立美術館
MINAMI ALPS CITY MUSEUM OF ART

〒400-0306
山梨県南アルプス市小笠原1281
TEL 055-282-6600 FAX 055-282-6601

